

宮崎市定博士追悼錄

宮崎市定博士略歴

- 一九〇一(明治三四)年八月二十日 長野縣下水内郡秋津村靜閑にて  
宮崎市藏・悦の次男として出生
- 一九一四(大正三)年 三月 秋津小學校を卒業  
一九一九(大正八)年 三月 飯山中學校を卒業  
一九二二(大正一一)年 三月 新設の松本高等學校文科甲類を卒業  
一九二五(大正一四)年 三月 京都帝國大學史學科(東洋史)を卒業  
一九二七(昭和二)年 四月 第六高等學校講師、五月に教授  
一九二九(昭和四)年 三月 陸軍輜重兵少尉  
同 年 四月 第三高等學校教授  
一九三〇(昭和五)年 十月 金澤市籍小西吉太郎次女松枝と結婚  
一九三一(昭和六)年 九月 長女一枝が誕生  
一九三二(昭和七)年 二月 上海事變擴大で馬廐長として應召  
一九三三(昭和八)年 八月 京大學生を引率して中國各地を歴遊  
一九三四(昭和九)年十二月 京都帝國大學文學部助教授  
一九三六(昭和一一)年 二月 文部省在外研究員として渡佛  
一九三七(昭和一二)年 九月 三ヵ月近く、西アジア各地を歴遊  
一九四二(昭和一七)年十二月 正五位に敘せらる  
一九四四(昭和一九)年 四月 勳四等に敘し瑞寶章を授けらる  
同 年 五月 京都帝國大學文學部(東洋史學)教授  
一九四五(昭和二〇)年 二月 地下施設隊附將校として應召  
一九四六(昭和二一)年 一月 地理學教室主任、同教室再建に努む  
一九四七(昭和二二)年 四月 『五代宋初の通貨問題』で文學博士
- 一九五〇(昭和二五)年 九月 京都大學文學部長。教育學部長事務取扱を兼ねる  
一九五六(昭和三一)年 五月 東洋史研究會會長(逝去まで)  
一九五八(昭和二三)年 五月 『九品官人法の研究』により日本學士院賞を受賞  
一九五九(昭和三四)年 四月 京都大學人文科學研究所教授に併任  
同 年十一月 京都大學分校主事(教養部長)に併任  
一九六〇(昭和三五)年 十月 バリ大學客員教授として渡佛  
一九六一(昭和三六)年 十月 ハーバード大學客員教授として渡米  
一九六五(昭和四〇)年 三月 停年退官。四月、京都大學名譽教授  
同 年 十月 ハンブルク大學客員教授として渡獨  
一九六六(昭和四一)年 五月 ルール大學客員教授。ポフムに移る  
一九六七(昭和四二)年 六月 ロンドン大學SOASの在外會員  
一九七一(昭和四六)年十一月 勳二等に敘し旭日重光章を授けらる  
一九七八(昭和五三)年 五月 フランス學士院ジュリアン賞を受賞  
一九八三(昭和五八)年十二月 京都府文化特別功勞賞を受賞  
一九八九(平成元)年十一月 文化功勞者に選ばれ功勞年金を受く  
一九九一(平成三)年 十月 岩波書店より『宮崎市定全集』第一回配本(第十四卷「雍正帝」)  
一九九二(平成四)年 一月 飯山市名譽市民に選ばれる  
一九九四(平成六)年 二月 全集(全二十四卷別巻)が完結  
一九九五(平成七)年五月二十四日 肺炎にて逝去。從三位に進級、銀杯一組、並びに金一封が下賜さる  
同 年六月四日 京都市左京區の自宅にて告別式  
同 年十月二十六日 本籍地の飯山市靜閑の新墓地に埋葬